

# トラノコ・ファンド I

## 愛称：小トラ KO-TORA



第9期 決算日：2026年3月23日  
作成対象期間：2025年3月22日～2026年3月23日

<受益者の皆さまへ>

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「トラノコ・ファンド I 愛称：小トラ」は2026年3月23日に第9期決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	<p>◆ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>◆マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>◆マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>◆外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。</p>
主要投資対象	親投資信託である「トラノコ・マザーファンド I」
組入制限	<ol style="list-style-type: none"> <li>ETFおよびETNへの実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</li> <li>デリバティブの直接利用は行いません。</li> <li>一般社団法人資産運用業協会の規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人資産運用業協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</li> </ol>
分配方針	<p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託会社が、信託財産の成長に資することを目的に、上記①の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。従って、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

**TORANOTEC**  
ASSET MANAGEMENT

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	騰落率			投資信託証券 組入比率	純資産額
		税引分	前金	期中騰落率		
5期 (2022年3月22日)	円 11,112	円 0	% 0.3	% 97.4	百万円 156	
6期 (2023年3月20日)	10,341	0	△6.9	94.8	199	
7期 (2024年3月21日)	11,190	0	8.2	94.8	195	
8期 (2025年3月21日)	11,363	0	1.5	94.0	206	
9期 (2026年3月23日)	12,238	0	7.7	94.3	205	

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## 当期中の基準価額等の推移

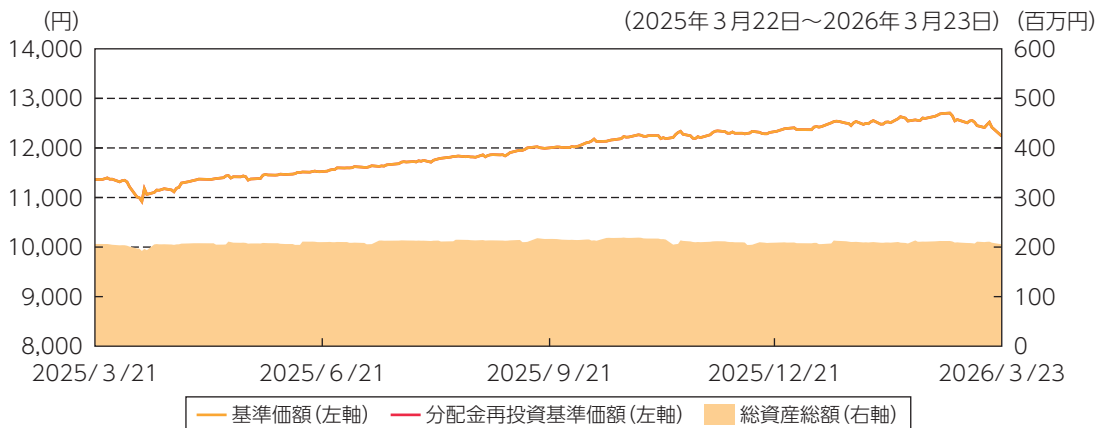
年月日	基準価額	騰落率		投資信託証券 組入比率
		騰落率	騰落率	
(期首) 2025年3月21日	円 11,363	% -	% 94.0	
3月末	11,316	△0.4	95.0	
4月末	11,345	△0.2	93.4	
5月末	11,455	0.8	91.9	
6月末	11,595	2.0	95.0	
7月末	11,731	3.2	95.3	
8月末	11,865	4.4	93.9	
9月末	12,028	5.9	94.9	
10月末	12,248	7.8	95.2	
11月末	12,345	8.6	94.6	
12月末	12,370	8.9	94.3	
2026年1月末	12,552	10.5	92.0	
2月末	12,695	11.7	94.7	
(期末) 2026年3月23日	12,238	7.7	94.3	

(注) 騰落率は期首の基準価額比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

期中の基準価額等の推移



第9期首：11,363円

第9期末：12,238円 (当期分配金0円 (税引前) )

騰落率： 7.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 当ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

「基準価額」って？

ファンドの値段のことを基準価額といいます。また取引を行う際の単位があり、それを「口 (くち)」と呼びます。1口=1円からスタートし、その後、運用の成果により変動します。当ファンドを含む多くのファンドは1万口当たりの基準価額を公表しています。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドの当期末基準価額は12,238円、前期末から875円のプラスとなりました。2025年度を通して、主な変動要因となったのは株式市場の動向でした。米国株式市場は政治的リスクやAIを巡る懸念などがありましたが、FRBの金融緩和と堅調な企業業績がそれを上回り、結果的に堅調となりました。また、日本株式市場も高市早苗氏が新首相となり、その景気刺激策に期待が集まり大幅に上昇しました。

### (上昇要因)

- ・ 株式市場、REIT市場、コモディティ市場の上昇。ドル高によるドル建て資産価値の押し上げ。

### (下落要因)

- ・ 一部の債券銘柄の下落。

## 投資環境

(2025年3月22日～2026年3月23日)

### <株式市場>

米国株式市場は政治的リスクやAIを巡る懸念などがありましたが、FRBの金融緩和と堅調な企業業績がそれを上回り、結果的に堅調となりました。また、日本株式市場も高市早苗氏が新首相となり、その景気刺激策に期待が集まり大幅に上昇しました。

### <債券市場>

FRBの利下げに合わせて長期金利が下落し債券価格が上昇する展開となりました。ただ、経済指標動向の影響でインフレ懸念が再び広がったこともあって、通期では小幅上昇に留まりました。

### <REIT>

全体として、世界的な金利低下の流れと貸貸市況の回復などから上昇しました。セクター別では、高齢化社会の需要を背景にヘルスケア関連のREITが好調でした。また、住宅関連REITも供給不足による賃料上昇が続き堅調となりました。ただ、オフィス関連REITは、リモートワークの定着などから難しい局面が続きました。

### <商品市場>

ゴールド市場は、比較される長期金利が低下し、地政学リスクの増加などが加味されたため、ドル建てゴールド価格は1オンス当たり3,000ドル付近から一時5,000ドルを超える大幅な上昇となりました。一方で、原油市場は原油需要の減少から60ドル台で推移していましたが、当期末に米イラン紛争が始まると一時100ドルを超えるなど大幅に上昇しました。

### <為替>

ドル円市場は、米長期金利低下と日長期金利上昇で二国間金利差の縮小が見込まれていましたが、さほど進展しなかったことから、150円付近から160円付近へと大きくドル高円安となりました。

## 当ファンドの運用経過と結果

(2025年3月22日～2026年3月23日)

当ファンドは、トラノコ・マザーファンド I を通じて、世界各国の上場投資信託証券 (ETF) 等に投資しました。価格の振れ幅 (リスク・リターン) に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、大トラや中トラのマザーファンドに比べてリスクを抑えるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在のヘッジ比率は86.3%です。

今期の結果として、債券市場の一部銘柄を除いて概ね上昇したため、小トラも上昇となりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月22日～2026年3月23日)

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

## 分配金

(2025年3月22日～2026年3月23日)

中長期的な市場見通し等から複利効果を最大限に享受していただくことが最善であると判断し、当期は分配を見合わせました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第9期
	2025年3月22日～2026年3月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,346

(注) 対基準価額比率は、当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

主として親投資信託である「トラノコ・マザーファンド I」に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

「トラノコ・マザーファンド I」

引き続き、運用の基本方針に従い、リスクを抑えることを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、安定したリターンの獲得を目指した運用を行います。

## 1万口当たりの費用明細

(2025年3月22日～2026年3月23日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 40	% 0.332	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,962円です。
(投信会社)	(33)	(0.277)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等各種書類の作成等の対価
(販売会社)	(－)	(－)	運用報告書等各種書類の交付、取引口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.055)	ファンド財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.033	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(4)	(0.033)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	36	0.302	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(23)	(0.189)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(13)	(0.110)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、弁護士費用、法定提出書類の作成等に要する費用
(その他)	(0)	(0.003)	・信託事務の処理に要する費用
合計	80	0.667	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

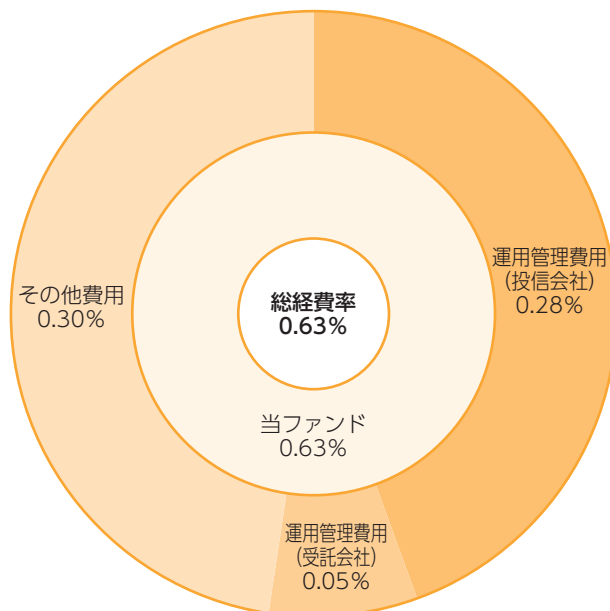
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

**(参考情報)****○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.63%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買及び取引の状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

ファンド名称	設定口数	設定金額	解約口数	解約金額
トラノコ・マザーファンド I	千口 2,519	千円 3,000	千口 14,612	千円 18,500

(注) 単位未満は切り捨てております。

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。

■ 自社による当ファンドの設定・解約状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。

■ 組入資産の明細 (2026年3月23日現在)

親投資信託残高

項目	期首口数	当期末口数	当期末評価額
トラノコ・マザーファンド I	千口 169,945	千口 157,852	千円 201,135

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てております。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

■ 投資信託財産の構成 (2026年3月23日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
トラノコ・マザーファンド I	千円 201,135	% 97.1
コール・ローン等、その他	6,034	2.9
投資信託財産総額	207,169	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てております。

(注) トラノコ・マザーファンド I において、当期末における外貨建て純資産 (169,354千円) の投資信託財産総額 (201,385千円) に対する比率は84.1%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=159.52円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	207,169,832
コール・ローン等	6,034,342
トラノコ・マザーファンド I (評価額)	201,135,376
未収利息	114
(B) 負債	1,613,181
未払解約金	1,149,699
未払信託報酬	347,640
その他未払費用	115,842
(C) 純資産総額(A - B)	205,556,651
元本	167,963,012
次期繰越損益金	37,593,639
(D) 受益権総口数	167,963,012口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,238円

(注) 期首元本額 181,519,213円  
 期中追加設定元本額 66,705,392円  
 期中一部解約元本額 80,261,593円  
 (注) 1口当たり純資産額は1.2238円です。

■損益の状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	25,817
受取利息	25,817
(B) 有価証券売買損益	12,441,402
売買益	16,765,157
売買損	△ 4,323,755
(C) 信託報酬等	△ 929,447
(D) 当期損益金(A + B + C)	11,537,772
(E) 前期繰越損益金	4,358,952
(F) 追加信託差損益金	21,696,915
(配当等相当額)	( 23,293,002)
(売買損益相当額)	(△ 1,596,087)
(G) 計(D + E + F)	37,593,639
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	37,593,639
追加信託差損益金	21,696,915
(配当等相当額)	( 23,520,882)
(売買損益相当額)	(△ 1,823,967)
分配準備積立金	15,896,724

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (6,189,786円)、費用控除後の有価証券等損益額 (3,571,750円)、信託約款に規定する収益調整金 (23,520,882円) および分配準備積立金 (6,135,188円) より分配対象収益は39,417,606円 (10,000口当たり2,346円) ですが、当期に分配した金額はありません。

お知らせ

一般社団法人日本投資顧問業協会および一般社団法人投資信託協会が合併し「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、2026年4月1日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。

親投資信託

# トラノコ・マザーファンド I

運用報告書

第9期 決算日：2026年3月23日

（計算期間：2025年3月22日～2026年3月23日）

トラノコ・マザーファンド I の第9期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

主要投資対象	主として世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）への投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。なお、債券等に直接投資することもあります。
運用方針	①主としてETFおよびETNへの投資を通じて、国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等を対象とした様々な資産クラスに対してリスクに合わせてバランスの取れた分散投資を行います。 ②投資する資産クラスや銘柄の選定については、平均分散アプローチを用いて、運用の基本方針に沿った最適ポートフォリオを構築します。 ③ポートフォリオについては、クオンツ・リサーチに基づいた平均分散アプローチによる最適化を定期的に行うことにより、必要な場合にはポートフォリオの構成比率をリバランスします。 ④原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。その他の外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。
主な投資制限	①ETFおよびETNへの投資割合は制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③デリバティブの直接利用は行いません。 ④外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。 ⑤一般社団法人資産運用業協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人資産運用業協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		投資信託証券比率	純資産
		期騰	中率		
5期 (2022年3月22日)	円 11,364	% 0.6		% 101.0	百万円 151
6期 (2023年3月20日)	10,596	△6.8		96.7	195
7期 (2024年3月21日)	11,527	8.8		96.7	191
8期 (2025年3月21日)	11,767	2.1		97.0	199
9期 (2026年3月23日)	12,742	8.3		96.4	201

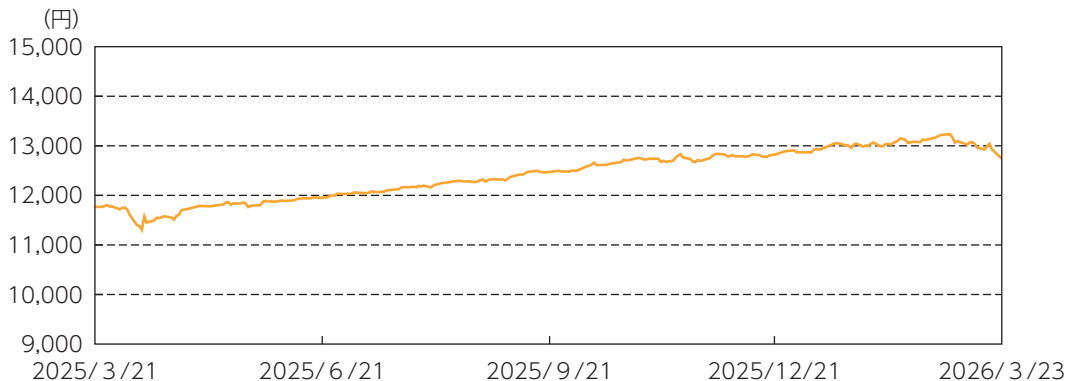
## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託証券比率
		騰	落	
(期首) 2025年3月21日	円 11,767	% -		% 97.0
3月末	11,719	△0.4		97.1
4月末	11,758	△0.1		96.2
5月末	11,878	0.9		93.6
6月末	12,029	2.2		96.7
7月末	12,179	3.5		98.4
8月末	12,326	4.8		96.2
9月末	12,502	6.2		96.3
10月末	12,739	8.3		96.0
11月末	12,840	9.1		96.2
12月末	12,870	9.4		96.5
2026年1月末	13,067	11.0		93.7
2月末	13,224	12.4		96.3
(期末) 2026年3月23日	12,742	8.3		96.4

(注) 騰落率は期首比です。

## 期中の基準価額等の推移

(2025年3月22日～2026年3月23日)



当ファンドの当期末基準価額は12,742円、前期末から975円のプラスとなりました。2025年度を通して、主な変動要因となったのは株式市場の動向でした。米国株式市場は政治的リスクやAIを巡る懸念などがありましたが、FRBの金融緩和と堅調な企業業績がそれを上回り、結果的に堅調となりました。また、日本株式市場も高市早苗氏が新首相となり、その景気刺激策に期待が集まり大幅に上昇しました。

### (上昇要因)

- ・ 株式市場、REIT市場、コモディティ市場の上昇。ドル高によるドル建て資産価値の押し上げ。

### (下落要因)

- ・ 一部の債券銘柄の下落。

## 投資環境

(2025年3月22日～2026年3月23日)

### <株式市場>

米国株式市場は政治的リスクやAIを巡る懸念などがありましたが、FRBの金融緩和と堅調な企業業績がそれを上回り、結果的に堅調となりました。また、日本株式市場も高市早苗氏が新首相となり、その景気刺激策に期待が集まり大幅に上昇しました。

### <債券市場>

FRBの利下げに合わせて長期金利が下落し債券価格が上昇する展開となりました。ただ、経済指標動向の影響でインフレ懸念が再び広がったこともあって、通期では小幅上昇に留まりました。

### <REIT>

全体として、世界的な金利低下の流れと貸貸市況の回復などから上昇しました。セクター別では、高齢化社会の需要を背景にヘルスケア関連のREITが好調でした。また、住宅関連REITも供給不足による賃料上昇が続き堅調となりました。ただ、オフィス関連REITは、リモートワークの定着などから難しい局面が続きました。

### <商品市場>

ゴールド市場は、比較される長期金利が低下し、地政学リスクの増加などが加味されたため、ドル建てゴールド価格は1オンス当たり3,000ドル付近から一時5,000ドルを超える大幅な上昇となりました。一方で、原油市場は原油需要の減少から60ドル台で推移していましたが、当期末に米イラン紛争が始まると一時100ドルを超えるなど大幅に上昇しました。

### <為替>

ドル円市場は、米長期金利低下と日長期金利上昇で二国間金利差の縮小が見込まれていましたが、さほど進展しなかったことから、150円付近から160円付近へと大きくドル高円安となりました。

## 当ファンドの運用経過と結果

当ファンドは、世界各国の上場投資信託証券（ETF）等に投資しました。価格の振れ幅（リスク・リターン）に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、大トラや中トラのマザーファンドに比べてリスクを抑えるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在のヘッジ比率は86.3%です。

今期の結果として、債券市場の一部銘柄を除いて概ね上昇したため、小トラも上昇となりました。

## 今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、リスクを抑えることを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、安定したリターンの獲得を目指した運用を行います。

## 1万口当たりの費用明細

(2025年3月22日～2026年3月23日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	円 4 ( 4)	% 0.034 (0.034)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 ( 0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	24 (24) ( 0)	0.196 (0.193) (0.003)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・信託事務の処理に要する費用
合計	28	0.230	
期中の平均基準価額は、12,427円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

投資信託証券

	国	銘柄名	単位数又は口数	買付額	単位数又は口数	売付額
国内	日本	TOPIX連動型上場投資信託	□ 760	千円 2,307	□ 2,030	千円 6,869
		NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	380	771	990	2,028
		小計 証券数・金額	1,140	3,079	3,020	8,898
国外	アメリカ	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	□ 133	千ドル 13	□ 196	千ドル 19
		ABRDN BLOOMBERG ALL COMMODIT	225	4	392	8
		VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	483	23	647	31
		ISHARES GOLD TRUST	11	0.696	527	40
		SCHWAB U.S. TIPS ETF	533	14	757	20
		Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	356	28	508	40
		VANGUARD FTSE EUROPE ETF	56	4	149	11
		VANGUARD S&P 500 ETF	42	22	102	59
		VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF	120	7	189	12
	小計 証券数・金額	1,959	118	3,467	244	

(注) 金額は受け渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てております。ただし、単位未満の場合は小数で記載しております。

■ 主要な売買銘柄 (2025年3月22日～2026年3月23日)

銘柄	柄	単位数又は口数	買付金額	銘柄	柄	単位数又は口数	売付金額
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF(アメリカ)		□ 356	千円 4,135	VANGUARD S&P 500 ETF(アメリカ)		□ 102	千円 8,948
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)		483	3,515	TOPIX連動型上場投資信託		2,030	6,869
VANGUARD S&P 500 ETF(アメリカ)		42	3,339	Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF(アメリカ)		508	6,201
TOPIX連動型上場投資信託		760	2,307	ISHARES GOLD TRUST(アメリカ)		527	6,146
SCHWAB U.S. TIPS ETF(アメリカ)		533	2,060	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF(アメリカ)		647	4,918
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)		133	1,918	SCHWAB U.S. TIPS ETF(アメリカ)		757	3,105
VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF(アメリカ)		120	1,116	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE(アメリカ)		196	2,996
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信		380	771	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信		990	2,028
ABRDN BLOOMBERG ALL COMMODIT(アメリカ)		225	687	VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF(アメリカ)		189	1,894
VANGUARD FTSE EUROPE ETF(アメリカ)		56	590	VANGUARD FTSE EUROPE ETF(アメリカ)		149	1,780

(注) 金額は受け渡し代金です。(償還分は含まれておりません。)

■ 利害関係人との取引状況等 (2025年3月22日～2026年3月23日)

該当事項はございません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細 (2026年3月23日現在)

国内投資信託証券

銘柄	期首	当 期		末
	単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額	組 入 比 率
TOPIX連動型上場投資信託	□ 5,600	□ 4,330	千円 15,843	% 7.9
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	4,890	4,280	8,870	4.4
合計 単位数又は口数・金額	10,490	8,610	24,713	
合計 銘柄数<比率>	2	2	<12.3%>	

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 単位未満は切り捨てております。

外国投資信託証券

銘柄	期首		当 期		組 入 比 率
	単位数又は口数	単位数又は口数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	□	□	千ドル	千円	%
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	1,311	1,248	123	19,641	9.8
ABRDN BLOOMBERG ALL COMMODIT	1,003	836	19	3,184	1.6
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	5,318	5,154	246	39,307	19.5
ISHARES GOLD TRUST	1,164	648	54	8,755	4.4
SCHWAB U.S. TIPS ETF	4,856	4,632	123	19,639	9.8
Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	3,282	3,130	246	39,399	19.6
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	539	446	35	5,633	2.8
VANGUARD S&P 500 ETF	310	250	149	23,845	11.9
VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF	1,002	933	60	9,703	4.8
合計 証券数・金額	18,785	17,277	1,060	169,111	
合計 銘柄数<比率>	9	9	-	<84.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 単位未満は切り捨てております。

<組入上位 E T F の概要>

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

Vanguard Short-Term Corporate Bond Index Fund

Portfolio Composition % of Net Assets (as of August 31, 2025)	
Communications	4.2%
Consumer Discretionary	7.2%
Consumer Staples	5.7%
Energy	5.6%
Financials	38.6%
Health Care	8.4%
Industrials	6.8%
Materials	2.3%
Real Estate	4.2%
Technology	7.9%
Utilities	6.6%
U.S. Government and Agency Obligations	1.1%
Other Assets and Liabilities—Net	1.4%

**This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.**

## &lt;組入上位 E T F の概要&gt;

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

## Vanguard Total International Bond Index Fund

**Portfolio Composition % of Net Assets**  
 (as of October 31, 2025)

Africa	0.0%
Asia	19.1%
Europe	63.2%
North America	10.6%
Oceania	4.0%
South America	0.4%
Other Assets and Liabilities—Net	2.7%

**This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.**

## &lt;組入上位 E T F の概要&gt;

※発行会社作成のANNUAL REPORTから内容を抜粋しています。

## Vanguard 500 Index Fund

Portfolio Composition % of Net Assets (as of December 31, 2025)	
Communication Services	10.6%
Consumer Discretionary	10.4%
Consumer Staples	4.7%
Energy	2.8%
Financials	13.2%
Health Care	9.6%
Industrials	8.2%
Information Technology	34.4%
Materials	1.8%
Real Estate	1.8%
Utilities	2.3%
Other Assets and Liabilities—Net	0.2%

**This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.**

■投資信託財産の構成 (2026年3月23日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 193,825	% 96.2
コール・ローン等、その他	7,560	3.8
投資信託財産総額	201,385	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てております。

(注) 当期末における外貨建て純資産 (169,354千円) の投資信託財産総額 (201,385千円) に対する比率は84.1%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=159.52円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年3月23日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	346,952,752
コール・ローン等	7,431,005
投資信託受益証券(評価額)	193,825,299
未収入金	145,567,056
未収配当金	129,256
未収利息	136
(B) 負債	145,821,246
未払金	145,821,246
(C) 純資産総額(A - B)	201,131,506
元本	157,852,281
次期繰越損益金	43,279,225
(D) 受益権総口数	157,852,281口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,742円

(注) 当親ファンドの期首元本額は169,945,704円、期中追加設定元本額は2,519,220円、期中一部解約元本額は14,612,643円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、【元本の内訳】の通りです。

(注) また、1口当たり純資産額は1.2742円です。

【元本の内訳】

トラノコ・ファンド I 157,852,281円

■損益の状況 (2025年3月22日～2026年3月23日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	7,649,214
受取配当金	7,574,529
受取利息	74,685
(B) 有価証券売買損益	9,403,551
売買益	40,376,352
売買損	△30,972,801
(C) 信託報酬等	△ 404,609
(D) 当期損益金(A + B + C)	16,648,156
(E) 前期繰越損益金	30,037,646
(F) 追加信託差損益金	480,780
(G) 解約差損益金	△ 3,887,357
(H) 計(D + E + F + G)	43,279,225
次期繰越損益金(H)	43,279,225

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。